

「パウロに倣って家の人に仕える機会を探す」

(資料:[フィリ2:3-8、]コリ9:19-23、10:24、33)

1. パウロはイエスの自己犠牲の精神に倣って、いつも謙遜さを示した

例えば、**コリ9:19-23**をご一緒に読んでみる。何方か読んでいただけるか？— (感謝)

2. 私たちもパウロに倣って、例えば次のような状況で、どのように謙遜さを示せるか？

- (1) 家の方を再訪問した時に、ご家族の別の方が出てこられた時、どのように謙遜さを示せる？
- (2) 新たな再訪問を増やすために、どんなことを改善できるか？(労う、聖句残す、良い記録)
- (3) 奉仕の時間を有効に用いるために、どんな努力ができるか？(人にお会いする機会を増やす)

3. (結 論)

考慮した状況には、個人的に大切さを痛感した事例も含まれて。もっとパウロに倣う必要あるかもそれでパウロの次の助言もいつも大切にしたいです。**コリ10:24、33**を何方か読んで？— (感謝)
朗読やコメントに参加して下さった皆さんに感謝いたします。

では、お祈りして奉仕に出掛けることに。(奉仕に出られる予定の方はステージ向かって左前に集合)

温かな憐れみの父、あらゆる慰めの神であられるエホバ

この時代の大勢の人々は、自分が変な宗教にだまされないと決意していても、実際には既にサタンに騙されて王国の良い知らせの素晴らしさを理解できないようにされていることに気づいていない。私たちは人々を強制したりしませんし、一人一人の気持ちや決定を大切にすることはいえ、貴方とイエスの偉大な愛について、また聞く人を救いに導く聖書の音信を、伝える点で遠慮などしてられないことも良く理解しています。

どうぞ私たちが人々の必要や福祉を一層気遣うものとしてこの貴重な奉仕を続けていけますよう

今晚の奉仕に参加します、私たちの努力を祝福して

地上で謙遜に命の開拓者として活動して下さった、イエス・キリストを通してお祈り